



茨城東高校で高校野球をやりませんか

みんな野球が好きで、上手くなりたくて野球をやっている。茨城東高校野球部は、そんなみんなの期待に応えられるチームでありたいと思っています。 髪型は坊主にこだわりません
私たち茨城東高校野球部は…

「生徒がいきいきとプレーし、勇気をもって勝負できるチームでありたい。」

「生徒が持てる力を試合で十分に発揮できるチームでありたい。」

「豊かな発想をもって戦うことのできるチームでありたい。」

「夢や希望、ワクワクのあるチームでありたい。」etc.

…という思いでチームづくりに励んでいます。

☆学校生活について

茨城東はアクティブスクールとして、個別の進路希望（進学・就職）に幅広く対応しています。また、本校は体験学習・体験型の進路ガイダンス・インターンシップなどを通じて自分の選ぶべき道を模索する機会が多いことも特徴のひとつです。さらには、それぞれの目的に合わせ、2年次からは一部の科目で選択制の授業を展開しています。詳しくは、本校スクールガイドをご覧ください。

☆登下校について

現在のところ、石岡コース、水戸コース、茨城町コースのスクールバスが運行していますが、放課後、部活動に取り組んでから帰宅する生徒のためのスクールバスは運行していません。「茨城東高校前」のバス停から関東鉄道の路線バスが、水戸駅行きは 19:27 に、石岡駅行きは 19:09（ただし、19:09 発は堅倉止まり）に出ています。とはいえ、現在の部員は、石岡や水戸からも自転車で通っています。

☆バッグンに恵まれた野球施設&環境

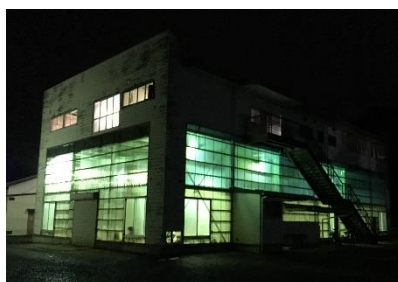
私（南形）自身、こんなに素晴らしい環境で野球をやったことはありません。そして、「環境が人を育てる」という言葉があるように、環境を整えることがチームづくりの第一歩であり、私たちの役目だと思っています。どこに出しても恥ずかしくない立派な環境を整えて、春に新入部員を迎えたいと思います。



部活動や施設の見学、その他、
野球部についての質問など
は、お気軽にご連絡ください。

TEL 029-292-6245

顧問 南形（みながた）





『令和でも甲子園』

(2020.Winter)

11月下旬、定期考査前に本校グラウンドで行われた今シーズンの最終戦。序盤から相手にリードを許す展開。それでも中盤以降に粘りを見せ、九回表が終了した時点で9対9の同点。最後は相手チームのサヨナラヒットで幕を閉じました。ここからは、長いオフシーズン。来シーズンの開幕に向けた準備が始まります。

〔2020年 活動実績〕 ※…本校・玉造工業・笠間・友部の4校連合で出場

⊕第72回春季関東地区高校野球茨城大会	中止	
⊕令和2年度水戸地区水無月杯	中止	
⊕2020年夏季茨城県高等学校野球大会	一回戦	●0-3 対那珂
⊕令和2年度水戸地区ジュニア大会※	一回戦	●3-5 対鹿島学園
	敗者戦	●2-3 対水戸農業
⊕第73回秋季関東地区高校野球茨城大会水戸地区予選※	一回戦	●1-6 対鹿島
⊕令和2年度水戸地区神無月杯※	一回戦	●0-19 対常磐大
⊕関東地区高等学校野球秋季大会※	一回戦	●0-19 対鹿島学園

チャンスをつくるもあと一本が出なかった夏季大会。投打ともに粘り強く戦うことができたジュニア大会。試合の流れをつかむことが出来なかった秋季大会。秋季大会以降、練習試合を重ねるも、次第にミスが目立つようになり、どこか消極的な野球になってしまった秋。歯車が噛み合わず、なんともならなかった神無月杯と関東地区秋季大会。さらに、関東地区大会の翌週に行った練習試合でも大敗。そんな状況のなか迎えた冒頭の今シーズン最終戦。投手が四死球に苦しんだものの、久しぶりに打線の繋がる好ゲームで今シーズンを締めくくることができました。





『令和でも甲子園』

(2020.Autumn)

昭和58年夏に甲子園初出場を果たし、平成9年夏にも二度目の甲子園に出場した茨城東高校。その後は久しく甲子園からも遠ざかり、いつしか戦績も…、そして部員数も…。

しかし、茨城東高校に野球部がなくなったわけではありません。たしかに少ない人数ではありますが、他校同様、日々向上心を持って活動しています。

そして、私たちのでっかい目標は、やはり他の高校球児と同じく『甲子園』です。

勝利を目指して望んだ2020夏季茨城県高校野球大会。一回戦、那珂高校に0対3で敗れた後、改めて自分たちを見つめ直しました…

かつて茨城県を二度勝ち抜いた茨城東高校も、ここ数年は夏の一回戦負けが続き、低迷。二度の甲子園出場により築かれた立派な野球施設もやや老朽化、過去の先輩方が残したのであろう傷が残り、部室も散らかり放題。どこを切り取っても、スポーツを題材にした多くのドラマや漫画の第一話をリアルに再現しているといった感じ……。

ということは……、その復活劇もまた、ドラマチックに違いありません。

とはいえ、現状を無視してただ夢を見ているわけにはいきません。

私たちも、ただ黙って状況を見守っているわけではなく、日々の練習以外にも、あれやこれやと茨城東高校野球部の再浮上のきっかけを探しています。

さて、新チームは、玉造工業、笠間、友部との連合チームでスタート。

新型コロナウイルスの影響で夏休みが短くなり、連合チームがそろって練習できたのは、約2週間。茨城東高校のグラウンドでの練習や練習試合をこなし、水戸地区ジュニア大会(対鹿島学園 3-5 負、対水戸農業 2-3 負)、秋季関東大会茨城県水戸地区予選(1-6 負)を戦いました。

秋季大会以降、週末は基本的に連合チームで合同練習や練習試合に励んでいます。

平日は、顧問2人に、マネージャー1人を含めて8人での練習。なんとなくポジションに分かれて、なんとなく練習するのはやめ、思い切って「投」と「打」の強化を目標に練習をすることにしました。

現状を見れば、今の茨城東高校にとって「甲子園」は夢のまた夢かもしれません。たしかに、茨城東高校が「甲子園」へ行けない理由を考える方が簡単でしょう。でも、それではおもしろくないので、「甲子園」に行ける可能性や行くためのヒントを探します。

茨城東の部員は、元気があり、愛すべき生徒たちです。ただ、性格的にはやや不器用な生徒たちでもあります笑。一年生が4人ということもあり、正直なところ、まだまだ「チーム一丸となって…」という雰囲気ありません。しかし、そのぶん、この一年生が本気になったときのエネルギーは他のチームにも負けないように感じています。

来春、新一年生が新たにこのチームに加わるまでに、現一・二年生が、技術的に、そして人間的にどんなふう伸びているのか楽しみです。



部活動や施設の見学, その他, 野球部についての質問などは, お気軽にご連絡ください。

よろしくお願いします(^-^)

TEL 029-292-6245

顧問 南形(みながた)